

令和4年4月7日

保護者様

真庭市立河内小学校
校長 山田 史子

巨大地震発生時における対応について

春暖の候、皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より、本校教育活動に対しまして深いご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、地震調査委員会は、中国地方で今後30年以内にマグニチュード6.8以上の地震が起きる確率は50%と公表しました。地震への備えが一層緊急かつ重要な課題となっております。「真庭市地域防災計画」では、「市内で震度5弱の地震が観測されたとき」特別警戒体制をとることとなっております。この計画に従い巨大地震発生時の本校の対応について、次のとおり考えておりますので、保護者の皆様のご協力をよろしく願います。

記

登校前	①自宅待機とします。(登校可の判断後連絡)
登下校中の場合	安全な場所に一時避難してから、学校か自宅の近い方へ行きます。 ①学校へ行く。→「引き渡し」 ②自宅に帰る。 ③近くの避難場所に行く。→安否を確認します。
学校滞在中の場合	①すべての教育活動を中止し、児童を安全な場所に避難誘導する。 ②安全確認の上で保護者に引き渡す。 ※迎えが来ない児童は一時、学校で保護します。 ③すべての通信手段寸断のため、ウサギメール・地域内放送が使用できない場合があります。巨大地震発生時は学校からの連絡が届かない場合も、予め定めた方法で保護者の方の迎えをお願いいたします。
夜間・休日など	①学校再開の連絡まで、自宅待機とします。

※このような自然災害がいつどのようなところで起こるかわかりません。普段からお子様と「命を守る行動」についてお話をさせていただきよう願います。